

令和 4 年度浦添市まちづくりアカデミー 講座報告書

第 2 回講座	
日時	令和 4 年 9 月 7 日（水）19：00～21：00
テーマ	市民協働とは？ 「社会課題解決のために」すでに協働活動を実践されている方々の生の声を聞き、協働が身近なものであることを学ぶ
講師	松島朝也氏（コロナに負けるな！いきなりプロジェクト実行委員長） 脇詞音氏・池田茉奈氏（沖縄 VONS レオクラブ・学生団体 VONS） 奥平智子氏（特定非営利活動法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄代表理事） ゴージャス理枝氏（女性を元気にする会代表・那覇市民協働大使）
会場	浦添市市民協働・男女協働参画ハーモニーセンターホール
参加人数	アカデミー受講者：17 名 登壇者関係者：3 名
講座内容 （概要）	市民協働活動を実践している 4 団体・5 氏から話を聞いた。 松島氏 新型コロナウイルス蔓延により、生活が大変になっている人が身近に増え、何とかしたいという思いから食糧支援活動を開始した。原資はゼロの状態からスタート。口コミや、共催のシンクセッションと付き合いのある支援団体、企業、個人から助けてもらい集めた。全 10 回の活動で、のべ 2019 名に支援することができた。行政や社協と連携し聞き取りを行うことで、さらなる支援へつなげることもできた。多くの方の協働で活動を行うことができた。 脇氏・池田氏 平敷氏（前回登壇者）の熱い想いに賛同した県費留学生同期や学生たちによりフードドライブ活動をスタートした。学業をしながらの活動は、企業との打ち合わせ時間や活動場所の確保など多くの困難がある。学生がボランティアをすることに、社会にもっと理解があるといい。現在はフードドライブ活動以外にも、学習支援や子どもたちの交流イベント、SDGs 学習会など、子どもたちを育む活動も行っている。大人だけでなく、学生も一緒に SDGs の 17 番目の目標である「パートナーシップで目標を達成しよう」を実現していくことが大切だと考える。 奥平氏 テレビで、日本初のフードバンク団体セカンド・ハーベストの活動を見たことをきっかけに活動を開始した。「もったいないをありがとうへ」をスローガンに、食品企業や生産者等または個人などから無償で提供された食品を、沖縄県内で食品を必要とする個人世帯へ支援窓口や施設団体を通して無償で提供する活動を行っている。沖縄県労働者福祉基金協会と連携し、活動を手伝ってもらうことで、就労体験場所を提供することができている。預かった食品を使っていただく方へ安心して届ける役割も担っている。活動を知った企業が長年社内でフードドライブをして提供してくださるなど、ゆる

	やかに長くつながることができている。協働での活動には、SDGsの目指すゴール17番目の「パートナーシップで目標を達成する」ことが一番大切だと考えている。 ゴージャス氏 「食料支援で繋がる困窮世帯！負の連鎖を断ち切り一歩前進」 生活に追われる母親にワンコインで「美」を提供するイベントを開催したことをきっかけに、困窮世帯のいろいろな声が届くようになってきた。様々な協力により、イベントは無料で行えるようになり、イベント会場で行ったフードドライブにはたくさんの食糧を提供してもらえた。次第に個人的にSOSが届くようになり、個別の食糧支援活動をするようになった。コロナ禍でその数は急増している。支援時の個別の聞き取りを特にだいにしにいて、必要な場合はすぐに行政や関係機関につなげている。食糧支援はつながるきっかけであり、つながることで一歩を踏み出すきっかけを提供できればと思っている。 話を聞いた後、グループに分かれ感想を共有した。また、登壇者にも輪に入ってもらい、受講者と直接対話した。
参加者の声	・それぞれの活動をされている方ですが、皆さんの活動を通して目指している部分（根の部分）が共通していると感じました。今回の講座も日頃なかなか聞くことができない貴重な機会となりました。ありがとうございました。 ・物資は確かに必要だが、心のケアや人とのかかわり、ビジネスを創る、お金の教育もこれからの沖縄に必要だと感じました。 ・素晴らしい取り組みばかりで、生の声を聴けて大変有意義で心に残る時間となりました。次回も楽しみです。 （一部抜粋）
写真	    

浦添市まちづくりアカデミー 第2回講座 アンケート

日時：令和4年9月7日（水） 19：00～21：00

場所：浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター

1. 属性

まちづくりアカデミー受講者 17件

登壇者関係者 3件

2. 年齢

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
0	1	6	5	4	4

3. 講座について

満足	やや満足	やや不満	不満	未記入
15 (75%)	2 (10%)	0	0	3 (15%)

4. 今日話を聞いてあなたにできそうだったことはどんなことですか

- ・ SNS で、この活動があることを広める。その際に、食糧や日用品などの物資を届けることはすぐにでもできることを伝える。
- ・ NTT 西日本さんが行っている企業でのフードバンク活動を社内でも取り組みたい
- ・ 支援物資の仕分けやその他作業のお手伝いが大変だろうと感じるので、できる限り参加したいと感じました。
- ・ 子どもの支援を通しての繋がり
- ・ 自分なりの貧困社会へのかかわり方、解決方法を何か考え始めること。
- ・ まずは私でもできるフード提供や寄付を始めたいと思いました。
- ・ フードロス、買いすぎない、腐らさない。家庭の中でもできることがあるなと思いました。
- ・ できることは何でもやりたいです。声かけてください。
- ・ 相談できずに困っている人たちへ情報を共有したい。イベント参加、協力。
- ・ 地域の子どもたちに目を向けること。おや？と思ったら行動する。フードドライブの情報を探し、自分も参加する。
- ・ 食育→植育！！1人ひとりがロスしないような食べ方を。食べられる植物を育てる。
- ・ 多様性も学んでいこうと思いました。
- ・ もっと視野を広げ気づき、伝えること。
- ・ もったいないを通して支援活動につなげること。
- ・ 何ができるのかこれから考えてみたいと思いました。
- ・ ボランティアへの理解
- ・ 職場で一度だけフードバンクに取り組みました。でも、様々な考え方の中で継続することが難しくなり、一度きりの活動になりました。今日話を聞いて、もう一度取り組んでいこうかなと思っています。

5. ご意見・ご感想など

- ・ 学生団体の皆様を毎回アカデミーの中に入れてほしいです。非常に刺激になります。
- ・ 1つの団体で運営するのは職員の負担が大きすぎると思います。拠点、役割を地域全体に広げて継続しやすい環境作りが今後必要ではないかと思いました。地域の為に動き続ける団体の方達にも感謝いたします。日々の活動お疲れ様です。
- ・ それぞれの活動をされている方ですが、皆さんの活動を通して目指している部分（根の部分）が共通しているなと感じました。今回の講座も日頃なかなか聞くことができない貴重な機会となりました。ありがとうございました。
- ・ 物資は確かに必要だが、心のケアや人とのかかわり、ビジネスを創る、お金の教育もこれからの沖縄に必要だと感じました。
- ・ すばらしい取り組みばかりで、生の声を聴けて大変有意義で心に残る時間となりました。次回も楽しみです。
- ・ 学生さんのパワーもすごく感じたし、感心しました。
- ・ とても楽しくてそして心が温かくなりました。そして次回ものすごくプレッシャーです。
- ・ ゴージャス理枝さんの活動はTVを見て知っていました。今回お話を聞いて、直接支援者に会ってお渡しすることがとても大事で、支援者の心の支援になっていることがとても良いと思いました。
- ・ 物流って大変…。ワンストップでできることは？多岐に渡る活動をやりがいと意義を持ちながらスムーズに行うために。パートナーシップの大切さをまずは家庭から広げたい。
- ・ 特に学生の方たちの意識の高さは素晴らしいと思いました。いろいろな方の支援の活動も聞けて勉強になりました。
- ・ 学生さんが動き、直接子どもたちとつながるということは、子どもにとってとても大事な経験。きっとそれが夢を育むことにもなるんだろうなと思いました。
- ・ ゴージャスさんの食糧支援はつながるきっかけという言葉が印象に残りました。
- ・ 素晴らしい活動のお話を聞けてとても感動しました。行動できるって素晴らしい。
- ・ 多方面で活動している方々のお話を聞くことができて良かった。SDGsの“17”「パートナーシップで目標を達成しよう」を中心に考えてボランティアや活動力にしていることを改めて感じた。
- ・ 継続は力なりです。地域の課題も含め、フードバンクの継続を考え直してみたいです。
- ・ ありがとうございました。
- ・ 池原館長が素晴らしい活動をされていることは承知しておりましたが、他にも幅広い年齢や職業の方々が活動しておられるのを知り、感動しました。このような機会を頂いて、いろいろ知ることができて感謝します。